

ひとはく通信

ハーモニー

101

Jun. 2018



特集

美しき蝶たちとの出会い

— 江田コレクション展

2018

ブッダオビクジャクアゲハ
分布：インド南部

アンモナイトには、1万種を超えるといわれるほど多くの種類があり、その中には「異常巻」と呼ばれる変わった巻き方の殻をもつ種類もあります。皆さんがなじみのある「正常巻」は、殻同士が接して平面らせん状に巻くのに対し、「異常巻」の仲間は、殻がバネ状に伸びたり、トロンボーンのような形になったり（写真1）、ソフトクリームのような塔状になったりと、多様な形をしています。

地層の中から見つかる異常巻アンモナイトの化石は、殻が壊れて欠片になっているものがほとんどです（写真2）。このため、状態の良い化石が見つかる前に研究された種類は、殻の一部分のみを使って分類されていることが問題になっています。複数の種類に区別されている仲間も、殻全体が保存された化石を観察すれば、同じ種類の別の部分だったということがわかるかもしれません。ただ、完全な標本を入手するのは難しく、あっても数は限られます。そこで、断片的なものも含め、たくさんの標本を集め、観察する必要があります。

新たな材料を集めるだけでなく、過去に研究された標本を見直すことも大切です。私も、1800年代の論文に掲載された標本を観察しに

国内外の博物館を訪ねては、新たな発見がないか調べる作業を続けています。

アンモナイトに限らず、古生物が何種類だったのか、という問題は、とても難しい（だから面白い）問題なのです。

生野賢司（自然・環境評価研究部）



写真1
異常巻アンモナイト、ポリプチコセラス 細部の形状がよくわかるよう、表面を白く塗り、あえて白黒で撮影してある。標本の横幅は約6.5cm。



写真2
異常巻アンモナイトの欠片 写真1と同じ種類と推定される。右端の欠片の長さは約1.5cm。

トピックス

新入館員 自己紹介



博物館次長
清澤 貞二

4月に次長に着任しました清澤です。

私立学校行政に長く関わるとともに、3月までは自然豊かな但馬で勤務していました。「ひとはく」が一層多くの方にご利用いただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



生涯学習課長
小山 恵介

本年度から勤務しております。小山です。

本物に触れ感動する体験は子どもたちの学びの原動力になります。子どもたちに夢と感動を与え、多くの方に博物館に親しんで頂けるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



教育事務推進専門員
光川 安則

生涯学習課に勤務することになりました光川です。

人博には虫好きだった子どもが小さかった頃からよく来ていました。

みなさんに、より身近で楽しい博物館になるようにと思っています。

よろしくお願いいたします。



総務課
次山 知宏

今年度から総務課で勤務している次山（じやま）です。人と自然の博物館をより良くできるよう、研究員の方たちと協力しながら業務に積極的に携わっていきますので、よろしくお願いいたします。